

## 鶴田 明美 氏の学位論文審査の要旨

### 【論文題目】

日本語 臨床経験3年以上 20 歳代看護職者の離職願望の生起を予防するための看護実践の見つめ直しプログラムの開発

(英語) Development of a reflections program to reduce the turnover of nurses in their 20s with three or more years of clinical experience

【学位の種類】 博士 ( 看護学 )

### 【論文審査の結果の要旨】

本研究は、第1研究で作成された自尊感情と抑うつ状態に関連する職業性ストレスの尺度原案について第2研究でその尺度原案の信頼性・妥当性を確認し、第3研究では自尊感情と自己イメージに焦点を当てた中堅前期看護職者の離職予防を意図した看護実践の見つめ直しプログラム介入研究がされたものである。論文審査において、概念枠組みの検討、尺度原案作成プロセス、尺度原案の信頼性・妥当性を確認した上で、中堅前期看護職者の離職予防プログラム開発に関する介入研究がなされたこと、メンバーでの対話を通して自己の看護実践を見つめ直しを行うプログラムによって、中堅看護職者の自己イメージや自尊感情が高まり、離職予防願望が消失したことが示されたことから、中堅前期看護職者の自尊感情低下による離職予防の生起を予防するプログラム開発という重要な知見を提供したと考えられる。このことは、今後の中堅前期看護職者の離職防止に貢献することが期待される。

### 【最終試験の結果の要旨】

最終試験では、研究の意義、目的、概念枠組み、対象者の選定、測定尺度の信頼性・妥当性の検討、文献検討、第1研究から第2研究へ、そして第3研究への連続性ならびに論理の一貫性などについて質疑応答が行われ、概念枠組みなど課題は残るが、適切な解答を得ることができたため合格と判定する。

### 【審査委員会】

主査 教授 森田 敏子  
副査 教授 宇佐美 しおり  
副査 教授 前田 ひとみ